

特別支援学級

コスモス学級ではこのようなことを学習します

- 基本的な生活習慣を養いながら、身辺的な自立を目ざします。
- 生活経験を豊かにするとともに、日常生活に必要なことば、数に関する知識が高まることを目ざします。
- 豊かな感性を育むとともに、体力の向上を図り、心身ともに健康な体づくりを目ざします。
- 人と人との関わりを深め、社会性を高めることを目ざします。

日常生活の指導

- ◎日常生活に必要な基本的な生活習慣を身につける学習活動です。
 - ・生活の流れに沿って、実践をまじえながら取り組みます。
 - ・毎日、繰り返し行います。

あいさつ・返事・言葉づかい・衣服の着脱・衣服の調節・汗の始末・かぜの予防
手あらい、うがい・歯みがき・交通安全・給食の配膳・食事の仕方・後片づけ・
荷物の整理せいとん・係の仕事・当番活動・日付調べ・天気調べ・避難訓練・清掃など

生活単元学習

- ◎生活に必要な諸能力の伸長を図り、より生活に根ざし、生活の中に具体的なねらいをもった学習活動です。
 - 学校行事：生活体験学習・社会科見学：バスの中でのマナー・学年集団との交流（他校との交流学習：宿泊体験学習・なかよし発表会・なかよし交歓会・なかよし作品展）
 - 季節や季節の行事に関すること：季節の変化と生活・伝統な行事の参加など
 - 児童の生活に密着した内容：『ぼく、わたしにできることって何だろう』
「今やっているお手伝いや係の発表・自分にできそうなこと。」

- ◎いろいろなことに挑戦しよう。元気にあいさつしよう。友だちとなかよく遊ぼう。
- ◎自分でできること、やりたいことを見つけてやってみよう。



国語・算数

- 日常生活に必要な「ことば」「かず」に関する知識を身につけさせるために、課題別グループを構成したり、個々に応じた学習内容を工夫したりして学習する。
- ・文字の読み書き（ひらがな、カタカナ、漢字、数字など）、意思の伝達（聞く、話す、まとめる、答える、伝える、発表するなど）、いろいろな言葉（物の名前、様子や動きを表す言葉、反対語など）
- ・数の概念（いろいろな物の数を数えたり、数だけ揃えたりする）、簡単な計算（たし算、ひき算など）、時刻や時間の概念（時計の針の見方、時刻表の見方など）、お金（お金の数え方、払い方など）、物の比較（長短、大小、多少、高低、軽重など）、物の単位（重さ、長さ、かさなど）



音楽・図工・体育

- いろいろな歌を歌ったり、簡単な楽器を使って演奏したりすることを通して豊かな感性を育み、毎日の生活を豊かにする。
- ・季節の歌や子どもたちの興味ある歌などを歌います。簡単な楽器（カスタネット、リコーダー、タンバリン、ハンドベル、太鼓など）音楽鑑賞、校内音楽会等
- 身近材料などを使って遊ぶおもちゃを作ったり、季節や行事などの絵を描いたりすることを通して豊かな感性を育み、毎日の生活を豊かにする。
- ・身近材料を使って（ペットボトルアート、植物の実や葉などを使って首飾りなど）
- ・季節や行事などの絵（季節の絵、交歓会、体験学習など）、その他（砂遊び、落ち葉遊びなど）
- 走、跳、投を入れた運動やゲームをたくさん取り入れて、体力の向上を図り、心身ともに健康な身体づくりを目指します。
- ・遊具遊び、鬼遊び、とびっこ遊び、ボール遊び、力試し、リレー遊び、リズム遊び
- ・運動会、持久走大会



自立活動

- 各個人が抱えている学習上、生活上の困難さを改善・克服し、自立した社会参加ができる資質を養うことをねらいとした下記のような5つの領域からなっている学習活動です。
 - ☆健康の保持・・・身体・健康を保ち、また、改善していく学習
 - ☆心理的安定・・・心理的、情緒的安定を図る学習
 - ☆人間関係の形成・・・他者とのかわり、集団参加の基礎を培う学習
 - ☆環境の把握・・・いろいろな感覚を十分使い、周囲の環境に適応する能力を培う学習
 - ☆身体の動き・・・日常生活に必要な基本的動作を習得し、適切な動きを培う学習
 - ☆コミュニケーション・・・身振り、話し言葉、聞き言葉などを用いて回りの人たちとコミュニケーションができる能力を培う学習
- ※個々の実態、状況に応じて、活動の時間やねらいが異なる場合があります。

☆交流活動

- 直接交流：業前活動
- 教科交流 諸行事の交流（運動会 音楽会）
- 間接交流：教室前の廊下の作品掲示など

☆家庭での取組

- ・コミュニケーションを大切にしてください。
- ・ものごとの善悪を教えてください。
- ・よい面やできることを見つけてほめましょう。
- ・自立を意識させ、できることは自分でやらせてください

1・2年のシラバス

国語

学習目標・内容

- ①「言葉の働き」「話し言葉と書き言葉」「漢字」「語彙」「文や文章」「言葉遣い」「表現の技法」「音読、朗読」に関する内容を学習します。また、話や文章に含まれている情報を取り出して整理したり、その関係を捉えたりすることで、語や文章を適切に表現することを学びます。
- ②「話すこと・聞くこと」
経験した事などについて、事柄の順序を考えながら話すことや大事な事を落とさないように聞くことを学びます。
- ③「書くこと」
経験した事や想像した事などについて、順序が分かるように、語や文の続き方に注意して文や文章を書くことを学びます。
- ④「読むこと」
書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことを学びます。また、楽しんで読書ができるようにします。
等

評価の観点・方法

- ①学習意欲や思考力・判断力・表現力の重視
児童の学習意欲や思考力・判断力・表現力を重視して評価します。
- ②多面的な評価
ペーパーテストだけでなく、発言、ノート、作文、自己評価などの様々な面から評価します。
- ③ 自己評価の重視
学習の仕方や理解の程度など、児童が自己評価したものも重視します。

学力向上において

- ① 言葉のもつおもしろさや美しさ、また、言葉を使うことの楽しさや便利さを十分味わうような経験の場を一人一人に数多く与え、学習の意欲を高めます。
- ② 人の話をしっかり聞く、最後まできちんと話す、字を丁寧に書くなど、児童の達成の様子に合わせて学習し、確実に身につくようにします。
- ③ 言語活動が未分化な時期なので、言語の力として総合的に学習できるように、「話す、聞く、書く、読む」等多様な言語活動に取り組んでいきます。

保護者の方へ

- ① 家庭での音読にご協力をお願いします。
文章を正しくすらすらと読めることは全ての理解力の基礎です。毎日の課題として取り組んでください。また家族の団らんのひとときに、伸びを評価するようにして下さい。
- ② 正しい姿勢、鉛筆の持ち方に留意しながら、ひらがなを正しく習得できるように、また、漢字（新出漢字：1年－80字、2年－160字）の繰り返し練習ができるように、ご家庭でも宿題の時などに目を配ってくださるようお願いいたします。

算数(1年)

学習目標・内容

①「数と計算」

ものの個数を数えることなどの活動を通して、数の意味について理解し、数を用いることができるようにすることを学びます。

②「図形」

身の回りにあるものの形についての観察や構成などの活動を通して、図形についての基礎となる経験を豊かにします。

③「測定」

日常生活の中での時刻の読みや量の比べ方についての基礎となる経験を豊かにします。

④「データの活用」

ものの個数を絵や図などを用いて表したり、読み取ったりすることを学びます。

(※個数を絵や図などで表す)

○言語活動

計算の意味や仕方を、具体物を用いたり、言葉、数、式、図などを用いたりして表す力を身につけます。

算数(2年)

学習目標・内容

①「数と計算」

- ・ 4位数までについて、十進位取りの数の表し方や、大小を学びます。
- ・ 2位数や簡単な3位数のたし算、ひき算の計算が確実にできるようにします。
- ・ かけ算の意味を理解して、計算が確実にできるようにします。

②「図形」

三角形、四角形などについて知り、それらを書いたり作ったりし、基礎となる経験を豊かにします。

③「測定」

- ・ 長さ(mm、cm、m)、かさ(ml、dl、L)の単位について学習します。
- ・ 時間の単位(日、時、分)について学習し、日常生活の中で生かせるようにします。

④「データの活用」

身の回りにある数量を分類整理し、簡単な表やグラフを用いて表すことを学びます。

○言語活動

加法と減法の相互関係を図や式に表し、説明する力などを身につけます。

評価の観点・方法

①学習意欲や思考力・判断力・表現力の重視

- ・ 児童の学習意欲や算数的思考力、表現処理能力を重視して評価します。

②多面的な評価

- ・ ペーパーテストだけでなく、発表、ノート、考え方、自己評価などの様々な面から評価します。

学力向上において

- ① 身の回りの様々な事象が算数と深くかかわっていることに気づき、それらと関連づけながら、算数を学ぶことによって身近なものとして算数を学ぶ意欲を高めます。
- ② 日常事象の考察や問題解決の過程を通して、多面的にもものを見る力や発展的に考察する力、論理的に考察する力など創造性の基礎を培えるようにします。

保護者の方へ

- ① 日常生活の中で学んだことを用いた時は、ほめてあげてください。これまでの生活の中で何気なく使ってきた数について、物を分ける時や遊ぶ時などで算数として学んだことを生活で生かしている場面が見られることと思います。気付いた時には、ほめてあげるようにしてください。
- ② ひらがなと同様、正しい書き順や、丁寧に数字を書くことに留意して見てあげるようにしてください。

生活

学習目標・内容

- ① 身近な人々や地域の場所や公共物などとの関わりに関心をもち、地域のよさに気づき、社会の一員としての役割や行動の仕方について考え、安全で適切に行動できるようにします。
- ② 身近な動物や植物などの自然との関わりに関心を持ち、自然のすばらしさに気づき、自然を大切にしたり、遊びや生活を工夫したりすることができるようにします。
- ③ 身近な人々、社会及び自然とのかかわりを深めることを通して、自分のよさや可能性に気づき、意欲と自信をもって生活することができるようにします。

○ 言語活動

社会や自然に関する活動の楽しさを味わうとともに、気付いたことや楽しかったことなどについて、言葉、絵、動作、劇化などの方法により表現し、考えることができるようにします。

音楽

学習目標・内容

「表現」

- ① 階名で歌ったり、リズム譜に親しんだりしながら、音楽を聴いて演奏できるようにします。
- ② 拍の流れやフレーズを感じ取って、演奏したり、身体表現したりできるようにします。
- ③ 身近な楽器に親しみ、簡単なリズムや旋律を演奏することができるようにします。

「鑑賞」

- ① 音楽を聴いてそのよさや楽しさを感じ取るようにします。
- ② リズム、旋律及び速さに気をつけて聴くことができるようにします。

「共通項目」

- ① 音符、記号、用語などを、音楽活動を通して理解できるようにします。

○言語活動

音楽を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の楽しさに気付くことができるようにします。

図工

学習目標・内容

「表現」

- ① 土、木、紙などの身近な材料を使い、並べたり・つないだり・積んだりして、楽しい造形活動ができるようにします。
- ② 表したいことを見つけ、粘土、厚紙、クレヨン、ハサミ、糊、小刀などの身近な材料や用具を使って、絵や立体に表現できるようにします。

「鑑賞」

- ① 身近な材料に触れ、その感じについて話したり、友人の作品の話を聞いたりしながら、楽しく鑑賞することができるようにします。

「共通項目」

- ① 形や色などを基に、自分のイメージをもつことができるようにします。

○言語活動

感じたことを話したり、友人の話を聞いたりするなどして、形や色、表し方の面白さ、材料の感じなどに気付くことができるようにします。

体育

学習目標・内容

「体づくりの運動遊び」

- ① 体ほぐしの運動や多様な動きをつくる運動遊びを通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、体の基本的な動きができるようにします。
- ② 運動に進んで取り組み、きまりを守って仲良く運動したり、安全に気をつけて遊んだりできるようにします。（※他の運動領域でも同様）
- ③ 簡単な運動の行い方を工夫できるようにします。（※他の運動領域でも同様）

「器械・器具を使っの運動遊び」

- ① 固定施設やマット、鉄棒、跳び箱を使った遊びを楽しく行い、その動きができるようにします。

「走・跳の運動遊び」

- ① いろいろな方向に走ったり跳んだりする遊びを楽しく行い、その動きができるようにします。

「水遊び」

- ① 水に慣れる遊びや浮く・もぐる遊びを楽しく行い、その動きができるようにします。

「ゲーム」

- ① ボールゲーム（的に当てるゲームや攻めと守りのあるゲーム）や鬼遊びなどを楽しく行い、その動きができるようにします。

「表現リズム遊び」

- ① 表現遊びやリズム遊びを楽しく行い、題材になりきったりリズムに乗ったりして踊ることができるようにします。

○言語活動

各運動領域において、簡単なきまりや運動の行い方、遊び方を工夫できるようにします。

道 徳

学習目標・内容

- ① 良いこと悪いことを区別して、良いと思うことは進んで行い、素直にのびのびと生活できるようにします。
- ② 気持ちの良い挨拶、言葉遣い、動作などに心がけ、友達と仲良く助け合えるようにします。
- ③ 幼い人や高齢者など身近にいる人に温かい心で接し、親切にするようにします。
- ④ 身近な自然に親しみ、生きることの喜び、生命を大切にできる心が持てるようにします。
- ⑤ みんなが使うものを大切にし、約束や決まりを守り、家族を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つ喜びを知るようにします。
- ⑥ 約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にできるようにします。
- ⑦ 働くことのよさを感じて、みんなのために働くようにします。
- ⑧ 郷土の文化や生活に親しみ、愛着がもてるようにします。

○言語活動

自分の考えを基に、書いたり話し合ったりするなどの表現する機会を充実し、自分の考えを深めることができるようにします。

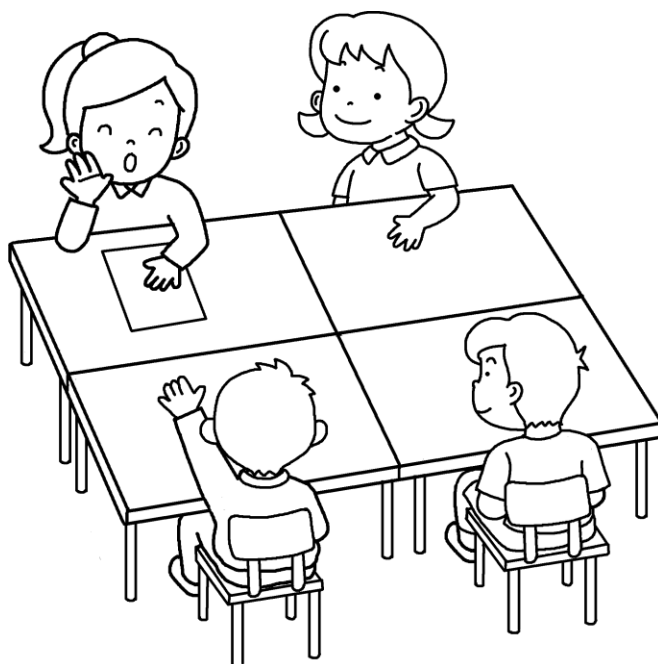
特別活動

学習目標・内容

仲良く助け合い学級生活を楽しくするとともに、日常生活や学習に進んで取り組もうとする態度を育成します。

○言語活動

友だちの意見をよく聞いたり、自分の意見を言えるようにしたりして、学級生活を楽しむための集団決定をすることができるようにします。



3・4年のシラバス

国語

学習目標・内容

①「話すこと・聞くこと」

経験した事などについて、事柄の順序を考えながら話すことや大事な事を落とさないように聞くことを学びます。

②「書くこと」

経験した事や想像した事などについて、順序が分かるように、語や文の続き方に注意して文や文章を書くことを学びます。

③「読むこと」

書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことを学びます。また、楽しんで読書を行います。

④「知識・技能」

言葉の特徴や使い方では、漢字やローマ字、主語と述語の関係などを学びます。

話や文章に含まれている情報の扱い方では、引用のしかたや辞書や事典の使い方を学びます。

言語文化に関するものは、易しい文語調の短歌や俳句について、情景を思い浮かべたり、リズムを感じ取りながら音読や暗唱をしたりすることを学びます。また長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うことを学びます。

評価の観点・方法

① 学習意欲や思考力・判断力・表現力の重視

知識や理解、技能面ばかりでなく、児童の学習意欲や思考力・判断力・表現力を重視して評価します。

② 多面的な評価

ペーパーテストだけでなく、発言、ノート、作文、自己評価、相互評価、毎時間の伸び、疑問、願いなど様々な面から評価します。

③ 自己評価の重視

学習の仕方や理解の程度など、児童が自己評価したものも重視します。

学力向上において

① くり返し漢字ドリルを利用し、熟語や短文練習を繰り返し、ミニテストを行ったり、学期に一度、漢字50問テストを行ったりします。

② ゲストティーチャーである地域の読み聞かせのグループの方などから朗読を聞かせていただいたり、音読の指導をしていただいたりします。

③ 音読や劇などの発表の機会を多くします。

④ 調べ学習では、学校図書館やインターネットで調べたり、時には地域に出て調べたりします。

保護者の方へ

① 家庭での音読に協力をお願いします。文章を正しくすらすらと読めることは全ての理解力の基礎です。毎日の課題として取り組んでください。また、家族の団らんの一時に、のびを評価するようにしてください。

② 漢字は3年生で200字、4年生で202字を習います。家庭での繰り返し練習をご家庭でもお願いします。また、シャーペンではなく鉛筆でしっかり書くことを指導しています。毛筆の筆は、その都度持ち帰りますので、きちんと洗わせてください。

社会(3年)

学習目標・内容

- ① 鴻巣地域の産業の様子や人々の生活や安全を守るための諸活動を理解し、社会の一員としての自覚を身につけます。
- ② 鴻巣地域の地理的環境や人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きを知り、地域社会に対する誇りと愛情を育てます。
- ③ 地域の事象を観察、調査し、地図や各種の資料を活用し、調べたことを表現すると共に、地域社会の特色について考える力を育てます。

○言語活動

調べたことや考えたことを相手にも分かるように表現する力を育てます。

社会(4年)

学習目標・内容

- ① 地域の事象を観察、調査し、地図や各種の資料を活用し、調べたことを表現すると共に、地域社会の特色について考える力を育てます。
- ② 埼玉県内の地理的環境や人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きを知り、地域社会に対する誇りと愛情を育てます。
- ③ 埼玉県の産業の様子や人々の生活や安全を守るための諸活動を理解し、社会の一員としての自覚を身につけます。

○言語活動

調べたことや考えたことを相手にも分かるように表現する力を育てます。

算数(3年)

学習目標・内容

①「数と計算」

ものの個数を数えることなどの活動を通して、数の意味について理解し、数を用いることが出来るようにすることを学びます。

②「測定」

長さを直接比べたり測ったりして、量と測定についての理解の基礎となる経験を豊かにします。

③「図形」

身近な立体についての観察や構成などの活動を通して、図形についての基礎となる経験を豊かにします。

④「データの活用」

数量の関係を式に表したり、式と図を関連付けたりすることなどを学びます。

○言語活用

整数、小数及び分数についての計算の意味や仕方を、具体物を用いたり、言葉、数、式、図を用いたりして考え、説明する活動などを行います。

算数(4年)

学習目標・内容

①「数と計算」

わり算の意味や計算の仕方、小数及び分数の意味や表し方を理解し、小数のたし算ひき算ができるようにすることを学びます。

②「変化と関係」

伴って変わる2つの数量についての変化の様子と表や式、折れ線グラフについて学びます。

③「図形」

二等辺三角形、正三角形について知り、それらの図形をかくことを学びます。

円の中心・直径及び半径について知り、コンパスを使って円をかいたり、長さを測ったりすることを学びます。

④「データの活用」

数量やその関係を言葉、数、式、図、表、グラフなどに表したり調べたりすることを学びます。

○言語活動

長方形を組み合わせた図形の面積の求め方を、具体物を用いたり、言葉、数、式、図を用いたりして考え、説明する活動などを行います。

評価の観点・方法

① 学習意欲や思考力・判断力・表現力の重視

知識や理解、技能だけでなく、学習意欲や思考力・判断力・表現力等を重視して評価します。

② 多面的な評価

単元テストだけでなく、日常の学習の様子、発言、課題への取り組み状況、ノートの整理の仕方、自己評価や相互評価、毎時間の伸び、疑問、願いなど様々な面から評価します。

学力向上において

① 確かな学力向上を目指す指導法の工夫

- ・子どもの興味・関心を喚起する学習方法を工夫します。(音読、朗読、群読、動作化など)
- ・伸びる子をさらに伸ばす発展学習や基礎基本の定着を図る補充的な学習を進めます。

② 個に応じた学習形態の工夫

- ・習熟度別コース学習等による少人数指導による学習を進めます。(4年)

保護者の方へ

① 計算力の向上を図るために、ドリルノートを利用して、繰り返して練習させます。ご家庭でも自主学習等に活用させてください。

② 算数での学習内容を生活に関連づけるようご家庭でも意識していただくと、より効果が上がると思います。

③ 算数学習は、一人一人に応じたきめ細かな指導の工夫をしています。少人数指導による学習として、習熟度別コース学習等も取り入れていきます。(4年)

理科(3年)

学習目標・内容

①「物質・エネルギー」

物の重さ、風やゴムの力並びに光、磁石及び電気を働かせたときの現象を比較しながら調べ、それらの性質や働きについての見方や考え方を養います。

②「生命・地球」

身近に見られる動物や植物、日なたと日陰の地面を比較しながら調べ、生物を愛護する態度を育てるとともに、生物の成長のきまりや体のつくり、生物と環境とのかかわり、太陽と地面の様子との関係についての見方や考え方を養います。

○言語活動

観察・実験の結果を整理し、考えたり説明したりする力を養います。

理科(4年)

学習目標・内容

①「物質・エネルギー」

空気や水、物の状態の変化、電気による現象を力・熱・電気の働きと関係付けながら調べ、それらの性質や働きについての見方や考え方を養います。

②「生命・地球」

人の体のつくり、動物の活動や植物の成長、天気の様子、月や星の位置の変化を運動・季節・気温・時間などに関連付けながら調べ、生物を愛護する態度を育てるとともに、人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境とのかかわり、気象現象、月や星の動きについての見方や考え方を養います。

○言語活動

観察・実験の結果を整理し、考えたり説明したりする力を養います。

音楽

学習目標・内容

「表現」

- ① 音楽を聴いたり楽譜を見たりして、演奏できるようにします。
- ② 歌詞の内容にふさわしい表現の仕方を工夫することを学びます。
- ③ 歌い方や楽器の演奏の仕方を身につけます。
- ④ 音の組み合わせを工夫して、簡単なリズムや旋律を作って表現します。

「鑑賞」

- ① 音楽を聴いてその良さや美しさを感じ取れるようにします。
- ② 曲想の変化を感じ取って聴き、音楽を楽しみます。

「共通項目」

- ① 音符、記号、用語などを音楽活動を通して理解できるようにします。

○言語活動

音楽を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴のよさに気付くことができるようにします。

図 工

学習目標・内容

「表現」

- ① 材料の特長を生かして、形を変えて作るなどの造形活動を体験し、つくりだす喜びを味わえることができるようにします。
- ② 材料や用具の特性を生かしながら、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫して使い、絵や立体に表すことができるようにします。

「鑑賞」

- ① 身近にある美術作品の良さやおもしろさについて、感じたことや思ったことを話し合いながら、鑑賞します。

「共通項目」

- ① 形や色などを基に、自分のイメージをもつことができるようにします。

○言語活動

感じたことを話したり、友人の話を聞いたりするなどして、形や色、表し方の面白さ、材料の感じなどに気付くことができるようにします。

体 育

学習目標・内容

「体づくり運動」

- ① 体ほぐしの運動や多様な動きをつくる運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに体の基本的な動きができるようにします。
- ② 運動に進んで取り組み、きまりを守って仲良く運動したり、場や用具の安全に気をつけたりすることができるようにします。（※他の運動領域でも同様）
- ③ 体づくりのための運動の行い方を工夫できるようにします。

「器械運動」

- ① マット運動や鉄棒運動、跳び箱運動の楽しさや喜びに触れ、その技ができるようにします。
- ② 自己の能力に適した課題をもち、できるようになるための活動を工夫できるようにします。
(※他の運動領域でも同様)

「走・跳の運動」

- ① かけっこ・リレーや小型のハードル走、幅跳び、高跳びの運動を楽しく行い、その動きができるようにします。

「水泳運動」

- ① 浮く運動ではいろいろな浮き方やけ伸び、泳ぐ運動では、補助具を使つてのキックやストローク、呼吸をしながらの初歩的な泳ぎを楽しく行い、その動きができるようにします。

「ゲーム」

- ① ゴール型ゲーム、ネット型ゲーム、ベースボール型ゲームを楽しく行い、その動きができるようにします。

「表現運動」

- ① 表現やリズムダンスの楽しさや喜びに触れ、表したい感じを表現したりリズムの特徴をとらえたりして踊ることができるようにします。

「保健」

- ① 健康の大切さを認識するとともに、健康によい生活について理解できるようにします。
- ② 体の発育・発達について理解できるようにします。
- ③ 毎日を健康に過ごすためには、1日の生活の仕方が深くかかわっていること、体を清潔に保ち、生活環境を整える必要があることを理解できるようにします。

○言語活動

各運動領域において、練習方法等を確認して主体的に活動したり、個やチームの課題を解決したりできるようにします。

総合的な学習の時間

学習目標・内容

- ① 地域の自然・人・社会などとのふれあいの中から、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成します。
- ② 子どもの興味・関心を大切にしながら、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自分の生き方を考えることができるようにします。

○言語活動

他者と協同して問題を解決する学習活動、言語により分析し、まとめたり表現したりする力を育成します。

道徳

学習目標・内容

- ① よく考えて行動し、自分でやろうとしたことは粘り強くやり遂げ、生活しようとする態度を育てます。
- ② 自分の特徴に気づき、よい所を伸ばす態度を育てます。
- ③ 礼儀の大切さを知り、相手のことを思いやり、感謝の気持ちを持って、社会を支えている人々や高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接する態度を育てます。
- ④ 自然のすばらしさや不思議さ、生命の尊さなど、美しい物や気高いものに感動する心を育みます。
- ⑤ 我が国の伝統と文化に親しみ、国を愛する心を持ち、外国の人々や文化に関心を持つ心を育てます。

○言語活動

自分の考えを基に、書いたり話し合ったりするなどの表現する機会を充実し、自分の考えを深めることができるようにします。

特別活動

学習目標・内容

協力し合って楽しい学級生活をつくるとともに、日常の生活や学習に意欲的に取り組もうとする態度を育成します。

○言語活動

自分の考えと比べながら友だちの意見をよく聞き、理由を明確にして意見を言うことにより、よりよい結論にまとめ、学級生活を楽しくするための集団決定をすることができるようにします。

外国語活動

学習目標・内容

- ① 英語を用いた体験的な活動を通して、言語や文化について体験的に理解を深めます。
- ② 日本語と英語の音声や語順の違いなどに気付いたうえで、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しみます。
- ③ 英語を通じて、身近で簡単なことについて、聞いたり話したりして自分の考えや気持ちを伝え合う力の素道を養います。
- ④ 英語を通じて、言語やその背景にある文化の多様性を尊重し、相手に配慮しながら英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養います。

国 語

学習目標・内容

- ①「言葉の働き」、「話し言葉と書き言葉」、「漢字」、「語彙」、「文や文章」、「言葉遣い」「表現の技法」、「音読、朗読」に関する内容を学習します。また、話や文章に含まれている情報を取り出して整理したり、その関係を捉えたりすることで、話や文章を適切に表現することを学びます。
- ②「話すこと・聞くこと」
伝えたい事を学び、自分の考えが分かるように筋道を立てて、相手や目的に応じた適切な言葉遣いで話すことや話の中心に気を付けて聞くことを学びます。
- ③「書くこと」
相手や目的に応じて書いたり、書こうとする事を中心に明確にしながら、段落と段落との続き方に注意して書くことを学びます。
- ④「読むこと」
目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、場面の移り変わりや情景を叙述を基に想像しながら読むことや、目的に応じて内容を大きくまとめたり、細かい点に注意したりしながら文章を読むことを学びます。

評価の観点・方法

- ① 学習意欲や思考力・判断力・表現力の重視
これまで知識や理解、技能を重視してきましたが、児童の学習意欲や思考力・判断力・表現力も重視して評価します。
- ② 多面的な評価
ペーパーテストだけでなく、発言、ノート、作文、自己評価、相互評価、毎時間の伸び、疑問、願いなど様々な面から評価します。
- ③ 自己評価の重視
学習の仕方や理解の程度など、児童が自己評価したものも重視します。

学力向上において

- ① 日常生活に必要な基礎的な言語能力の定着を図るため、討論会や1分間スピーチを行い、分からない語句の意味を調べたり優れた表現活動を集めたりします。
- ② 漢字ドリルを繰り返し練習したり、テストを行ったりしながら、言語の基礎基本を自主的に学習します。
- ③ 学校図書館を利用した学習を行い、目的にあった情報を選択したり、読書活動を充実したりします。
- ④ 調べ学習では、学校図書館やインターネットで調べたり、地域の人にインタビューしたりして、自分の課題について調べていきます。

保護者の方へお願い

- ① ご家庭での音読に協力をお願いします。
文章を正しくすらすらと読めることは全ての理解力の基礎です。毎日の課題として取り組んで下さい。また、家族の団らんの一時に、のびを評価するよう声かけをお願いします。
- ② 自主学習として、ご家庭での漢字の繰り返し練習のご協力をお願いします。

(新出漢字：5年－193字、6年－191字)

社会(5年)

学習目標・内容

- ① 我が国の産業の様子や国民生活の関連を理解し、我が国の産業の発展について学習します。
- ② 我が国の国土の様子について、理解し、国土に対する愛情を育てます。
- ③ 地図や統計などの資料を的確に活用し、調べたことが表現できるようにします。

○言語活動

調べたことや考えたことを根拠や解釈を示しながら、図や文章で表現し説明する力を育てます。

社会(6年)

学習目標・内容

- ① 先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心と理解を深め、我が国の歴史や伝統を大切にし、国を愛する心情を育みます。
- ② 政治の働きと、我が国の政治の考え方を知り、我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解します。
- ③ 地図や年表などの資料を的確に活用し、調べたことが表現できるようにします。

○言語活動

広い視野から考え、根拠や解釈を示しながら、表現し説明する力を育てます。

算数(5年)

学習目標・内容

- ① 「数と計算」
整数の性質に理解を深め、さらに小数や分数の計算などができるようにします。
- ② 「図形」
基本的な平面図形について理解を深め、図形についての基礎となる経験を豊かにします。
- ③ 「変化と関係」
伴って変わる二つの数量に着目し、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力を養います。
- ④ 「データ活用」
目的に応じて収集したデータの特徴や傾向に着目し、多角的に捉えて考察する考察する力を養います。

○言語活動

小数についての計算の意味や仕方、また図形の面積の求め方を、具体物を用いたり、言葉、数、式、図、数直線を用いたりして考え、説明する活動などを行います。

算数(6年)

学習目標・内容

- ① 「数と計算」
分数の理解を一層深め、分数の乗法除法を適切に用いることができるようにします。
- ② 「図形」
基本的な立体について理解を深め、図形の構成要素に着目して、考察ができるようにします。
- ③ 「変化と関係」
伴って変わる二つの数量に着目し、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察する力を養います。
- ④ 「データ活用」
身の回りの事象から設定した問題について、目的に応じて収集したデータの特徴や傾向に着目し、多角的に捉えて考察する考察する力を養います。

○「数学的活動」

分数についての計算の意味や仕方を、言葉、数、式、図、数直線を用いたりして考え、説明する活動などを行います。

評価の観点・方法

① 学習意欲や思考力・判断力・表現力の重視

これまでは知識や理解、技能を重視してきましたが、児童の学習意欲や思考、判断力、表現力を重視し、評価します

② 多面的な評価

相互評価、自己評価カード、発言、ノートなど様々な面から評価します。自己評価カードを活用し、学習の仕方や理解の程度などを自己評価させ、指導に役立たせます。

学力向上において

① 積極的に自分の考えを発表できるようにし、楽しみながら学習するようにします。

② 学習形態を工夫し、きめ細やかな指導を心がけるとともに、学習内容を確実に身につけていきます。

③ 作業的、体験的な算数的な活動を取り入れ、活動の楽しさを味わわせながら、基礎基本の定着を図ります。

保護者の方へ

① 「単位量あたりの大きさ」、「速さ」、「体積」などは学習したことを生かせるようにし、そのよさを実感させます。学習内容を生活に関連づけるようご家庭でも意識していただくと、より効果が上がると思います。

② 一人一人の児童の理解度を把握しながら授業を進めていきます。ご家庭でも宿題の時などに目を配ってくださるようお願いいたします。

理科(5年)

学習目標・内容

① 「物質・エネルギー」

物の溶け方、振り子の運動、電磁石の変化や働きについて調べ、物の変化や規則性についての見方や考え方を養います。

② 「生命・地球」

植物の発芽から結実までの過程、動物の発生や成長、流水の様子、天気の変化を条件・時間・水量・自然災害などに目を向けながら調べ、生命を尊重する態度を育てるとともに、生命の連続性、流水の働き、気象現象の規則性についての見方や考え方を養います。

○言語活動

観察・実験の結果を整理し、考察できる力や、科学的な言葉や概念を使用して考えたり説明したりできる力を養います。

理科(6年)

学習目標・内容

① 「物質・エネルギー」

燃焼の仕組み、水溶液の性質、てこの規則性、電気の利用について調べ、物の性質や規則性についての見方や考え方を養います。

② 「生命・地球」

人の体のつくりと働き、植物の養分と水の通り道、生物と環境、土地のつくりと変化、月と太陽の関係を推論しながら調べ、生命を尊重する態度を育てるとともに、生物の体の働き、生物と環境とのかかわり、土地のつくりと変化のきまり、月の位置や特徴についての見方や考え方を養います。

○言語活動

観察・実験の結果を整理し、考察できる力や、科学的な言葉や概念を使用して考えたり説明したりできる力を養います。

音 楽

学習目標・内容

「表現」

- ① 範唱や範奏を聴いて、演奏できるようにします。
- ② 歌詞の内容や楽曲の構成を理解して、それらを生かした表現の仕方を工夫することを学びます。
- ③ 呼吸及び発音の仕方を工夫して、豊かな響きのある声で歌うことができるようにします。
- ④ 曲の構成を工夫して、簡単なリズムや旋律を作って表現します。

「鑑賞」

- ① 曲想を全体的に味わって、音楽の持つ美しさを感じ取れるようにします。

「共通項目」

- ① 音符、記号、用語などを、音楽活動を通して理解できるようにします。

○言語活動

音楽を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴のよさを理解することができるようにします。

図 工

学習目標・内容

「表現」

- ① 材料の特徴をもとに発想し、材料の良さや美しさを考え、想像力や創造的な機能を働かせて表現することを学びます。
- ② 見たこと感じたことを表すために、これまで経験した材料や用具等の特徴を生かし絵や立体作品作りに取り組みます。

「鑑賞」

- ① 親しみのある美術作品や友だちの作品の良さや表現の工夫について、感じたことや思ったことを話し合いながら鑑賞します。

「共通項目」

- ① 形や色などを基に、自分のイメージをもつことができるようにします。

○言語活動

感じたことや思ったことを話したり、友人と話合ったりするなどして、表し方の変化、表現の意図や特徴などをとらえることができるようにします。

家 庭

学習目標・内容

- ① 衣食住や家族の生活などに関する実践的・体験的な活動を通して、自分の成長を自覚するとともに、家庭生活への関心を高め、家庭生活の大切さを学習します。
- ② 衣類の製作や調理など日常生活に必要な基礎的な技能を身につけ、身の回りの生活に活用できる力を養います。
- ③ 自分と家族とのかかわりを考えて、実践する喜びを味わい、家庭生活をよりよくしようとする実践的な態度を養います。

○言語活動

衣食住など生活の中の様々な言葉を実感を伴って理解したり、生活における課題を解決するために、言葉や図表などを用いて生活をよりよくする方法を考えたり、説明したりできるようにします。

「体づくり運動」

- ① ねらいに応じて体ほぐしの運動や体力を高める運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、体力を高めることができるようにします。
- ② 運動に進んで取り組み、約束を守り助け合って運動したり、場や用具の安全に気をつけたりすることができるようにします。（※他の運動領域でも同様）
- ③ 自己の体の状態や体力に応じて、運動の行い方を工夫できるようにします。

「器械運動」

- ① マットや鉄棒、跳び箱運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方や技能を身につけることができるようにします。
- ② 自己の能力に適した課題の解決の仕方や技の組み合わせ方、記録への挑戦の仕方を工夫できるようにします。（※他の運動領域でも同様）

「陸上運動」

- ① 短距離走、リレー、ハードル走、走り幅跳び、走り高跳びの運動の楽しさや喜びにふれ、その行い方や技能を身につけることができるようにします。

「水泳」

- ① クロールや平泳ぎの楽しさや喜びに触れ、続けて長く泳ぐ技能や行い方を身につけることができるようにします。

「ボール運動」

- ① ゴール型、ネット型、ベースボール型ゲームの楽しさや喜びに触れ、その行い方や技能を身につけることができるようにします。

「表現運動」

- ① 表現やフォークダンスの楽しさや喜びに触れ、表したい感じを表現したり踊りの特徴をとらえたりして踊ることができるようにします。

「保健」

- ① けがの防止について理解するとともに、けがなどの簡単な手当の方法を学びます。
- ② 病気の予防について理解するとともに、望ましい生活習慣を身に付けるようにします。

○言語活動

各運動領域において、運動の行い方を工夫できるようにします。

- ① 地域の自然・人・社会などとのふれあいの中から、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成します。
- ② 子どもの興味・関心を大切にしながら、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自分の生き方を考えることができるようにします。
- ③ 言語能力や情報活用能力を育成し、他教科および総合的な学習の時間で身に付けた資質・能力を相互に関連付け、学習や生活において生かし、それらが総合的に働くようにします。

○言語活動

他者と協同して問題を解決する学習活動、言語により分析し、まとめたり表現したりする力を育成します。

道 徳

学習目標・内容

- ① よく考えて行動し、自分でやろうとしたことは粘り強くやり遂げ、生活しようとする態度を育てます。
- ② 自分の特徴に気づき、よい所を伸ばす態度を育てます。
- ③ 礼儀の大切さを知り、相手のことを思いやり、感謝の気持ちを持って、社会を支えている人々や高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接する態度を育てます。
- ④ 自然のすばらしさや不思議さ、生命の尊さなど、美しい物や気高いものに感動する心を育みます。
- ⑤ 我が国の伝統と文化に親しみ、国を愛する心を持ち、外国の人々や文化に関心を持つ心を育てます。

○言語活動

自分の考えを基に、書いたり話し合ったりするなどの表現する機会を充実し、自分の考えを深めることができるようにします。

外国語

学習目標・内容

- ① 英語を通じて、言語の働きや役割などを理解し、読んだり書いたりして英語の文字、単語、語順などに慣れ親しむようにします。
- ② 英語の音声、語彙・表現を聞いたり話したりする実際のコミュニケーションの場面において活用できる基本的な技能を身に付けられるようにします。
- ③ 英語を通じて、身近で簡単なことについて、文字、単語などを読んだり語順に気付きながら書いたりするとともに、聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う基礎的な力を養います。
- ④ 英語やその背景にある文化の多様性を尊重し、相手に配慮しながら英語を用いてコミュニケーション能力を高めようとする態度を養います。

特別活動

学習目標・内容

信頼し支え合って楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるとともに、日常の生活や学習に自主的に取り組もうとする態度の向上を図ります。

○言語活動

自分の言葉で建設的な意見を述べ合えるようにし、多様な意見のよさを生かしてよりよい結論にまとめ、学級生活を楽しくするための集団決定をすることができるようにします。

知・徳・体のバランスの取れた児童の育成

- ① 「学力」の領域
 - ・ 基礎基本の知識、理解を大切にして授業を行います。
 - ・ 家庭学習などを積極的に取り組んで、繰り返し学習をすることにより、知識、技能の定着を図ります。
 - ・ 学ぶ意欲を高めるために、一人一人の子どもたちの良い点を見つけて、励ましていきます。
- ② 「規律ある生活」の領域
 - ・ 全教科や道徳の授業を通して、学習のルールを身につけます。
 - ・ 「吹っ子のやくそく」や毎月の「生活目標」を守って学校生活を送ることにより、集団生活のきまりを身につけます。
 - ・ 係活動や当番活動を通して、規律ある生活のルールを身につけていきます。
 - ・ 学校だけの取組で終わらせないために、家庭や地域と協力して、定着を図ります。
- ③ 「体育」の領域
 - ・ 体育の授業をはじめ、業前・休み時間、球技大会や市陸上記録会の練習を通して、体力の向上を目指します。
 - ・ 自分自身の体力テストの結果を知り、自分の目標を立て、目標に向かって課題を持ち、記録が伸びるように日常的な取組を行っていきます。
 - ・ 県平均と比べ、本校児童が劣っている内容について、継続的な取組を行い、克服していきます。